

# この1票で変えよう 目指す未来をどう描く？

## 「ヤングフォーラム2023」を開催しました

10代、20代のみなさんにもっと政治や選挙に興味を持ってほしい！

「ヤングフォーラム」は、そんな思いから、青森県明るい選挙推進協議会・青森県選挙管理委員会が毎年度開催しているイベントです。今回のヤングフォーラムは、青森大学の授業「キャリア特別実習」の一環で開催しました。

### 1. 開催日時・場所

令和5年11月1日（土） 13時～14時30分

青森大学3号館350教室

### 2. プログラム

#### (1) 基調報告 青森大学 榎引素夫教授 「選挙・政治と若者と胸のうち」

榎引教授から、昨年度にNHK青森放送局と協働で実施した青森大学学生を対象としたアンケートについてお話いただきました。アンケート結果から、若者の思考と投票行動は必ずしも一致しているわけではなく、投票に行かないが、自分の1票で未来を変えられると考える学生もいること、大人の投票行動が子どもに影響を与えること等が明らかになりました。

榎引教授は、「粘り強くやれば、今の若者は応える。逆に今の低投票率は、大人の粘り強さの欠落の反映ではないのかと思う」とお話ししていました。



## (2) 学生報告

### ①選ばれる側へのインタビュー

県議会議員・市議会議員にインタビューを行い、若者の投票率低下の対策、主権者教育等について報告を行いました。発表者の学生からは、「教育は0から1を生み出すのに最適な役割であり、主権者教育は投票率向上に向けて重要な役割である」、「インタビューを通して政治に対する考え方が変わった。」等のご感想をいただきました。

### ②大学生アンケートから

青森大学学生を対象に事前にアンケートを実施し、結果の報告を行いました。回答者の約4割が投票に行ったことがなく、行かない理由として「忙しい」、「政治に興味が無い」等が挙げられました。その他にも「現状の選挙の仕組みについて変えてほしいことは」、「選挙に出馬するならどのような公約を掲げる？」等の質問もあり、学生から様々な意見が寄せられました。

### ③むつ市選挙管理委員会へのインタビュー

青森大学むつキャンパスの学生でインタビューを行い、むつ市の投票率の現状と若者の投票率を上げるために市が行っている取組について報告しました。令和5年むつ市議会議員一般選挙選挙では、青森大学むつキャンパスにも期日前投票所が設置され、帰り際に投票ができて便利だったそうです。むつ市では、他にも商業施設等に期日前投票所を設置しています。



### (3) 青森県選挙管理委員会事務局から

青森県選挙管理委員会事務局職員から、青森県の投票率の現状や青森県選挙管理委員会で行っている投票率向上に向けた取組みを紹介しました。

### (4) フリートーク

参加した学生からは、様々な感想・意見が寄せられたので、ここでは一部をご紹介します。

・主権者教育は大事。それが当たり前になって選挙の投票率は上がると思うが、それだけでは面倒がったり、興味が無い人は行かない。そこから興味をどう持たせるかが大事ではないのか。

・まだ、選挙権が無い子ども達には主権者教育は有効だが、学校を卒業した 20 代の主権者意識の改革をするための働きかけは無く、その人の体験等に頼られていると感じている。

### 3. 参加者からの声(一部をご紹介します。)

・学生のみなさんへの継続した働きかけが変化をつくる、ということは大事な視点だと思いました。

・中々関心が持たれにくい政治、選挙という話題を、選管の方々、議員の方々と学生が話題にして話せたということが非常に大切なことだと思っております。実現できたのが嬉しかったです。

### 4. ヤングフォーラム 2023 を振り返って

今回のヤングフォーラムは、コアメンバーである 8 名の学生を中心に約 1 ヶ月半かけて準備をしました。最初は一人の学生が手を挙げて始まり、徐々にメンバーが増えていきました。学生が自ら考え、動いたことにより、多くの学生の声を聴くことができました。

